

## オール早慶明三大学ラグビー東日本大震災チャリティーマッチ

3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援を目的とした、オール早慶明三大学のチャリティーマッチが秩父宮ラグビー場で行われ、曇天にもかかわらず、5,700人を超える観衆がスタンドを埋めました。

試合直前には、出場する全選手がグラウンドに整列し、震災で亡くなられた方々のご冥福と被災地の一日でも早い復興を願い、選手、観客全員で黙祷を行いました。また、会場では、被災地支援のための募金活動やチャリティーイベントも行われました。これらの募金及び収益金はすべて日本赤十字社に寄付されることとなっています。

試合は、1試合、40分ハーフ、3チーム総当りで行われました。

### 第1試合 オール慶應対オール明治 (19対21)

慶應のキックオフで始まる。

先行したのは慶應。明治陣内での明治のスクラム。10番がキックしたボールを、慶應15番がカウンター攻撃。ラックを連取して4番がトライ、ゴール成功で0対7。明治もすぐに反撃。慶應陣内22メートルからのラインアウトからモールを作る。そのまま慶應ゴールまで押し込み、トライ。ゴールも決まり7対7とする。明治は14分にもトライを奪い7対14とする。慶應は24分に、明治の反則から素早く攻撃。9-13-6番とわたりトライ。ゴールも決まり14対14とする。さらに、終了間際の38分にもFW、BK一体の攻撃からトライを奪い19対14とし、ゲームを決めたかに思えた。しかし、直後の40分。明治はキックオフからのボールを獲得、18番がゴールポスト左にノーホイットトライ、ゴールも成功し逆転し19対21とする。

### 第2試合 オール早稲田対オール慶應 (19対10)

早稲田のキックオフで開始

11分。早稲田が先制する。早稲田、慶應陣22メートルライン内でのラインアウトから、左に展開、連続攻撃からラックを連取し、2番がトライ、ゴール成功で7対0。22分もトライを奪い12対0とする。30分には、慶應ゴール前でのキックを早稲田がチャージし、4番がインゴールで押さえ更に差を広げる。ゴールも決まり19対0。慶應は、32分、早稲田陣内での早稲田の反則から9番が速攻を仕掛け、そのままトライ、19対5とする。終了間際の37分。慶應は、慶應陣内での早稲田のオープン攻撃を10番がインターセプト。50メートル以上走り切りトライ、19対10とする。

### 第3試合 オール早稲田対オール明治 (28対12)

早稲田のキックオフで開始

4分。明治、ハーフライン付近での早稲田スクラムをプッシュ、早稲田からボールを奪いラック。9-10-13-11とわたりトライ、0対5と先行する。17分、明治は、早稲田ゴール前5メートルでのラインアウトから、モール、ラックで攻め、9番が中央にトライ、ゴール成功で0対12とする。早稲田は21分。明治陣内10mラインでのスクラムから右にオープン攻撃。15番のキックを13番が押さえ、ゴールも決め7対12とする。25分には、明治の反則から9番が速攻。12番につなぎトライ、ゴールも決まり14対12とする。更に、37分とロスタイムの43分にもトライを重ね、28対12としてノーサイド

早稲田、慶應、明治とも、それぞれのチームの特色を生かしたプレイが展開された。また、5月というシーズンが始まったばかりにもかかわらず、各チームともタックルがよく決まり随所に好プレイが展開され、観客からは、チームに関係なく惜しめない拍手が選手に送られた。どの試合もボールをよく動かし、見ていて楽しい内容であり、引き締まった好ゲームであった。

以下は試合前に行われましたトークショーと共同記者会見の様です。

早慶明チャリティーマッチの会場で司会上田昭夫氏(慶應大学 OB)、松尾雄治氏(新日鉄釜石 OB)、高橋善幸氏(釜石シーウェイブス GM)によるトークショーが行われました。

3月の大震災で被災した釜石市のクラブチームであるシーウェイブスからは高橋氏が参加、5月3日に練習を開始し、15日には関東学院大学との試合を行い、29日には秩父宮で開催される7人制の大会に出場することを報告しました。

チームの練習グラウンドは自衛隊のヘリポートになり、外人選手も含むチームメンバーが地元でのボランティア活動で大活躍したことはメディアにも取り上げられ話題になりましたが、食料も少なく練習などできる状況でもないため身体作りなど大変で、大きな高橋氏ですらお痩せになった(会場爆笑)とのこと。

松尾氏も釜石に9年間住み釜石黄金時代を築きあげたメンバーであり、何とか釜石シーウェイブスを長期支援したいと支援者やOB達と「スクラム釜石」を立ち上げ前日4日には記者会見を行いました。

「スクラム釜石」の目的は釜石シーウェイブスのサポーターを増やすこと。

シーウェイブスはクラブチームでありサポーターや地元企業の方達の支援により成り立っていて、釜石市が壊滅的な状況で地元企業から今までのような支援が受けられず、全国にサポーターを増やさないチームとしての活動も危うい。

現在の個人のサポーター数は約2千人、これを1万人に増やすのが目標であり今後も各地で活動して継続的に支援していきたいとのこと。

釜石7連覇時代に活躍され日本代表でもあった石山氏も「スクラム釜石」代表として登場、サポーター募集の説明を任されましたが東北人らしく口数少ない方で松尾氏に「石山さん話ダメだなあ」とつっこまれると「こんな所で話してる場合ではないんです、お客さんにサポーターになってくれるようお願いしないと」と会場内の「スクラム釜石」のブースに早く戻りたような様子。

本当はこの壇上が一番お客様にアピールできる場所なのに石山氏本人はいたって真面目、その言動がお客様の暖かい笑いを誘っていました。

司会をした上田氏はトヨタ時代に釜石と対戦した思い出や、日本代表時代に松尾氏とハーフ団を組み2人揃って二軍だった時期をお互い相手のせいにしていたエピソードなど披露、会場に集まった約200人のお客様は懐かしい話題や裏話の数々に時には頷き、手を叩き本当に楽しそうに聞き入っていました。

約30分のトークショーは上田氏のリードであつという間に過ぎ、会場は釜石シーウェイブスを励ます声援と拍手に包まれました。

共同記者会見

上田昭夫(総合司会～場内アナウンス/元慶應大 監督)さん

いつもは必ず試合の後に記者会見を行うのですが、早慶明が始めてイベントを行うこととなりましたので本日は公開記者会見として行わせて頂きます。

早稲田 辻監督お疲れ様でした。今日の試合を感想含めて御願いたします。

#### 早稲田大学 辻 高志監督

早稲田らしい展開ラグビーをやろうと選手にお願いしたのですが、今日始めて併せる選手もいましたが『早稲田の DNA が全員に流れているんだな』と思いました。自然と早稲田らしいラグビーをやっていたいただいた OB 選手の皆さんに感謝したいと思います。

今日集った時に菅野朋幸選手(釜石シーウェイブス所属)に東北の状況を伝えて頂き少しでも力になれたらと思います。試合をしました。

#### 上田昭夫さん

今回はかなり OB が多い編成でしたがキャプテンよりチームで話をしたりイメージしたものはありましたでしょうか?

#### 早稲田大学 山下大悟キャプテン(NTT コミュニケーションズ所属)

選手を呼ぶ段階で辻監督に許可を頂き直接電話した選手もいましたし僕近辺の選手は電話して集めました。

#### 上田昭夫さん

全員 OB の編成ですし今日は観客が 5,720 人と多数の皆様が集り、これはトップリーグを経験している OB の皆様方が沢山メンバーとして参加頂いたことによるのではないかと思います。試合前には清宮克幸さん(元早稲田監督/現ヤマハ監督)や松尾雄治さん(元明治 OB/現成城大監督)に非常に長い行列のサイン待ちの方もおり、ある意味でいろいろな早慶明の方が集って頂いたのではないかと思います。

今日は早稲田としては両ハーフともに勝ちましたので優勝ですか辻監督? (辻監督(笑))

続きまして日本にラグビーのルーツでもある田中銀之助さんのひ孫になります慶應の監督を今シーズンよりいたします田中真一さんです。

#### 慶應大学 田中真一監督

今日の試合、これだけ多くの OB の方が集まったのは初めてでしてオール慶應でトップリーグの選手が 18 名も集って頂きました、これだけ多くの OB が集って頂き、まさに『慶應のラグビーを被災地の皆様に届けよう』と集って頂きました。今日は残念ながら両ハーフ試合ともに負けてしまいましたがロッカールームでは慶應のラグビーをしようと一緒にプレイした選手~そうでない選手もおりますが皆が自分の『体の中に込み込んでいる慶應のラグビーをしよう』という思いで皆がピッチに立ちました。皆が闘志あふれるプレーをしてくれたのでとても勇気を届けることが出来たのだと思います。

#### 上田昭夫さん

キャプテンの栗原徹選手です。最後は往年のステップが出たね(笑)。私は当時監督でしたので久々に見たよ(笑)

#### 慶應大学 栗原 徹キャプテン(NTT コミュニケーションズ所属)

すばらしいメンバーが集って頂いたものでほんとに良い試合が出来ました。結果は負けてしまったので残念ですが OB として『タックルしてすぐ起きるとか小さいところを学生達に伝えていけたら、強いから出来るとか速いから走れるではなくがんばれば誰でも出来るというプレーを意識』して OB はプレーしていました。

被災地の清野輝俊選手(磐城高校出身/クボタスピアーズ)がいましたがゴールデンウィークの前半

に帰ったようですが彼の実家は山の方で被害は受けていなかったようですが海岸線沿いは映像よりも酷い状況で直接聞くことによって、より被災地に何か出来ないかなと思いました。多くの方が集りより大きなものになると思いますので今日は 5700 人の皆さんが集って頂き非常に感謝しております。

**上田昭夫さん**

明治大学 吉田監督です。今日の試合は初めから、どんどん選手が変わりますので場内アナウンスをしていました私は大変でした(笑)。今日の試合は如何でした?

**明治大学 吉田義人監督**

早稲田さんと慶應さんとのオールの試合が中止となりましたが5月5日にチャリティマッチが出来るという事で喜ばしく思いました。明治としても『ひたむきな明治の前に出る明治らしいラグビーを表現して正々堂々と戦おう』という事でOB選手達もトップリーグで学んだ精神的な部分や技術的な部分を前面に披露して頂き学生達も一緒にプレーする事で沢山多くの事を学べた良い機会になったなと思います。

また、今回銀座(東京)で『我々が出来る事をやろうよう』と皆で募金活動(4月4日)をしましたが、辻監督、田中監督と一緒にやらせて頂いて本当に先輩～後輩の垣根なく認め合ってリスペクトしあって活動できて、それが『絆』という形で強くなって、本当に早慶明が一体となって活動してきた事で、本日もワクワクと募金活動が楽しみにしました。素晴らしい監督達と今シーズン切磋琢磨できるなと思っています。

**上田昭夫さん**

キャプテンの陣川真也選手、怪我しちゃたの? 私は2002年にU20と一緒に遠征に行っていました。キャプテンでありながら昨シーズンで引退となりましたが最後の試合で素晴らしかったですね。今日の試合は如何でした。

**明治大学 陣川真也キャプテン(神戸製鋼)**

OBの集まりは早稲田さん慶應さんに比べますと非常に少なかったのですが、少ない中でもOBは皆しっかりやって頂いていましたので現役と一体感が出てきて最後の方では『明治らしい力強い試合が随所に出ているような試合』が出来たので本当によかったと思います。

**上田昭夫さん**

本来、早慶明連合軍とでニュージーランドと試合(5月3日)をする予定でしたが震災の状況で中止となりましたが試合は見たかったですね。あの試合組んでみたかったと思いませんか?

**早稲田大学 辻 高志監督**

ほんとは早慶明連合軍でやりたかったし、その場合は僕も出ようかなと思ってたし(笑)残念です。

**慶應大学 田中真一監督**

大学ラグビー界の中で伝統校3校といわれる我々が力を合わせてニュージーランドのチームと戦うという事は大変意味深いと思いましたが是非やりたかったと思います。ニュージーランドでも地震がありましたし、日本でも今回このような震災がありましたので来年は是非お互いの国のチャリティ～震災復興の支援という形で実現できればと思います。

**上田昭夫さん**

早慶明連合軍を作るとファンの方々から見ますと特色が全く違いますがどうですか?

### 早稲田大学 山下大悟キャプテン

今回、慶應のキャプテンされた栗原さんのすごい人望もありますので栗原さんをキャプテンとして皆で集えたらと思います。

### 上田昭夫さん

今日はNTT コミュニケーションズの選手が沢山いましたね。

### 慶應大学 栗原 徹キャプテン

慶應大 前監督の林雅人さんがヘッドコーチですので理解を示して頂き前々日より選手を派遣して頂きました。この試合に早慶合わせて4名出場しておりチームの理解には非常に感謝しております。

### 上田昭夫さん

陣ちゃん引退してさみしくない？

### 明治大学 陣川真也キャプテン

寂しいですね(笑)。体の方が。。。。。

### 上田昭夫さん

吉田監督、どうですか早慶明連合軍については？

### 明治大学 吉田義人監督

実は、監督就任して早々、『オール早慶明を復活させるかどうか』という会議に出席させて頂いてOB会と関東協会(理事)と監督が呼ばれたのですが、その時に『オール早慶明の最近の風潮を見ますと最近本当のガチンコの勝負になっていないのではないか、ある意味で1つのモチベーションになるものが必要ではないか』と思い、『早慶明の連合を組んでやって見てはどうですか?そのセレクションとしてオール早慶明を位置づけるのも1つの手ではないか』と提案させて頂きました。今回のニュージーランド来日の際に実現の方向で進んでいたのですが今回の震災があり、いたしかたないかなと思います。

### 上田昭夫さん

今回の震災は一過性のものでなく継続的なものですので来年を含めて、是非とも初めての早慶明連合軍を見てみたいと思います。

### 明治大学 吉田義人監督

何か我々監督として出来る事『募金しよう』と実施して、それが『絆』になってお互いの『絆』を確認し合えた事が、また来年に早慶明の連合チームを組んで外国チームを迎えて戦う時に非常に大きな力になるのではないかと思います。我々監督だけではなくキャプテン含め選手達も汗水流して一生懸命に募金活動をいたしましたので、本当に素晴らしい機会になりました。

### 上田昭夫さん

今日も募金活動を皆さんがジャージを着てやって頂き、選手の皆さんも82名参加頂き、今日の試合に出たという事は素晴らしい思い出になったのではないかと思います。

また、今日の試合は簡単に抜けるようなプレーは少なかったですね。早稲田も簡単に抜けるかなと思って見ていたら慶應もしっかりとディフェンスにいたり、慶應も最後勝ったかなと思ったら最後にトライされたり、なかなか見ごたえのある素晴らしい試合でした。

本日は、誠にありがとうございました。



